



大谷小だより

上越市立大潟町小学校 E-mail ohgata-e@jorne.or.jp 令和6年1月30日

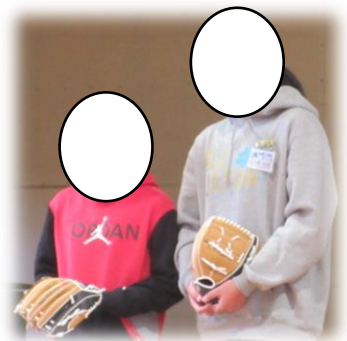
大谷翔平選手からグローブをいただきました。

19日(金)に上越市教育委員会に行き、標記のグローブをいただけてきました。せっかく大谷選手からいただいた物なので、よい出会いをしたいと思います、25日(木)の「きずな集会」で子どもたちに大々的に紹介することにしました。

校長が大谷選手からの手紙を紹介するなどした後、全校児童を代表して、6年生の☆☆☆☆さんと〇〇〇〇さんにグローブを贈呈しました。

☆☆さんは、「皆さん、大谷選手からいただいたグローブをたくさん使って楽しんでください。」〇〇さんは、「皆さん、野球を好きになってください。」と全校児童に呼びかけました。その後、2人はキャッチボールを披露しました。

全校にお披露目をした後、各教室にグローブを回し、全児童がグローブに手を入れました。



今週から

は、学級に1日ずつ貸し出し、体育の時間に使用するなどして、大谷選手が望むようにたくさん使用するつもりです。その後は、使い方を子どもと考え、大谷選手の思いを感じながら、たくさん使っていくつもりです。

上手な2人なので、キャッチするたびにとても良い音が体育館に響きました。



【大谷選手のメッセージ】※抜粋

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

うれしい湯っ子の姿！

○あれは、12月15日（金）（期末大清掃初日）のことです。校長は、3棟の階段の踊り場で、三脚を立てて戸のさんや絵画（額）の裏をほうきで掃いていました。そこを通過した子どもは約20名。ほぼ全員の子どもたちは、校長の背中に次の言葉を投げかけました。※約20名が連続で通過したのではなく、時間差で通過。

「がんばってください」
「校長先生、ありがとうございます」
「気を付けてくださいね」
「落ちないでください」
「校長先生自ら体を張ってるんですね」
「すごいほこりの量ですね」
「ぼくたちも掃除がんばります」
「お疲れ様です」



これらの子どもたちは、人に言われて、強制されて言葉を発した訳ではありません。その証拠に、発した言葉は人それぞれでした。その場で、自分で考えて言葉を考えて発したのです。なんと素晴らしい子どもたちなのでしょう！

○2学期最終日の12月22日（金）の下校時。児童玄関前で子どもたちは、口々に、

「よいお年を！」

と友達や職員に爽やかに言っていました。心が温かくなりました。

○上記の同日・同場所。明日から冬休みでしばらく友だちに会えないことが寂しいようで、児童玄関前でしばらく友だちと雪遊びをして遊ぶ子どもたちがたくさんいました。

○3学期初日の1月9日（火）の下校時。児童玄関で、ある1年生が、満面の笑顔で一言。

「校長先生、学校、楽しかった！」

